



# 大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」

令和3年4月15日号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
TEL 3762-6456

## 二中の伝統「思いやり」

本来であれば、上級生が皆さんを体育館で迎えて、この会を行うのですが、新型コロナウイルス感染症がまだ収まらない状況で、全員が集まると密になってしまう関係で、上級生は同じビデオは教室で見ますが、1年生だけの会になりました。でも今日の日のために様々準備をしてくれたことには変わりありません。ぜひ感謝をして臨んでもらいたいと思います。

生徒会長の話にも出てきましたが、大森二中の合言葉は「思いやり」です。体育館の後方にも掲げてあります。ではその意味は何でしょうか。辞書を引くと、**「他人の気持ちに配慮し、相手が何を望みどんな気持ちかを深く考え、接すること。相手の身になって考えたり、推察して気遣いをしたりすることを意味する言葉」**とあります。簡単にいえば、相手のことを考えるかどうか。人間関係にとって1番大事なことです。逆の意味の言葉は「自分勝手」でしょうか。人との関わりの中で人間はいろんな成長を遂げていきます。その根本となるのが「思いやり」です。大森二中の先輩方が大事にしてきた伝統の「思いやり」。ぜひ1年生にはその精神を受け継いでもらい、日頃の学校生活でもその力を十分に発揮して、皆が安心して過ごせる環境を作ってください。

(4月9日 新入生を迎える会)

## 中学校の計は4月にあり！

「1年の計は元旦にあり」との言葉があります。1年の計画は元旦に立てるべし、との意味です。学校は4月スタート…ということは、**「中学校の計は4月にあり」**と言い換えることができます。この1年の計画を立てることが、この1年をよりよく生きる、またよりよい結果を出すことにつながります。

3年生は受験生です。自覚はできていますか。来年の今ごろは新しい環境にいることとなります。自分がどこにいるのかを、できるだけ明確に描きながら、この1年間を走り抜いてほしいと思います。

2年生は二中の中核になります。特に2学期以降は、部活動や生徒会活動で中心になり、大森二中を動かしていく原動力にならなければいけません。この1年間、何に集中し、何に全力を尽くすかを明確にしてほしいと思います。

そして1年生、先週は入学式や教科書配布、校内めぐりなど慌ただしく、中学生になった余韻にも浸れず、とても疲れたのではないかと思います。最初はわからないことだらけで心配かと思いますが、いろいろと質問したり、自分で考えたりして、早く中学校生活に慣れるように頑張りましょう。

1年生136名を迎えて、435名の大森二中での学校生活が始まりました。多くの人数で生活するわけですから、学校には細かいルールがたくさんあります。ルールは守る、これは大原則です。ルールを守らない、守れない人は心の弱い人です。ルールや信頼を裏切るとは、とても簡単です。しかし、人間にとって大

事な心も失っています。そんな生徒は、大森二中にはいないと信じています。

安心して安全に皆さんが過ごしていくためには、多少の我慢が必要です。それは全員の考え方は多少なりとも違うことがあります。どこかに合わせなければ、集団生活は成り立ちません。そういう大人への段階を進む時期が、中学校時代だということを意識し、自分の言動に責任をもって毎日を充実させてください。

**最後に、メールやSNSで人の悪口を言ったり、傷つけたりすることは絶対に許しません。不適切な画像を送ったり送らせたり絶対にしないでください。それ自体が犯罪です。またいじめも絶対に許しません。自分が被害者になったり、そのような行為を見たりしたら、正義の心を奮い起こして、周囲の大人に相談してください。悪は黙って見ていると増長（いい気）になってしまいます。**

皆さんが学校生活で笑顔が満開になるように、充実した日々になるように期待しています。ぜひ大森二中で良い思い出を築いてください。

(4月12日 全校朝礼)

### 第1回学校運営協議会報告(4月7日)

今年度からコミュニティ・スクールモデル事業実施校として活動することになりました。様々な形で地域と連携しながら、教育活動を進め、充実させていきたいと考えています。

○委員長：高柳さん(元PTA会長) 副委員長：小澤さん(青少対副会長)

○校長から学校経営方針、教育課程、教職員人事、学校予算等について説明

○**学校と地域で連携して進める事業**について

⇒ 主として学校支援地域本部(会長：河野さん)が運営に携わる

①漢検・英検の運営と実施(国語科・英語科と連携)

②職場体験場所の確保、職業講話の人選(2学年と連携)

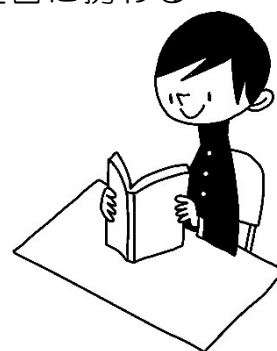
③地域からの要望として

☆公德心をもたせるための体験活動ができるとうい。

④学校からの要望として

☆着付けを部活動等などでできないか…

☆二中や地域の歴史についての講話はできないか…



### 修学旅行の実施について

5月20日から3年生は、京都・奈良方面へ修学旅行に行きます。3年保護者の皆さまには、保護者会を通して説明をしまりました。ただ、コロナ禍で不安な状況でもあり、行くこと自体に賛否があるのも存知しています。学校としては、以下のような理由で実施することを考えています。様々な対応については、臨機応変に考えています。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

①文科省の通知(4月1日)

○修学旅行等は、子供たちの学校生活に潤いや、秩序と変化を与え、思い出に残るなど、有意義な活動

○実施に当たっては、感染防止策の事前指導や、児童生徒や同居する家族等の健康観察を徹底するとともに、感染状況を見極めながら(中略)実施方法の適切な変更・工夫について検討する ⇒ 班行動からバス行動へ変更

②大田区の方針(区感染症対策ガイドラインより)

○万が一、延期又は中止する場合や児童・生徒が参加できない場合にかかるキャンセル料を含め、公費以外の私費負担部分は、全て保護者負担となる。

○保護者から感染の不安により当日の参加を控えたい旨の相談があった場合等は、児童・生徒や保護者の意向を尊重すること ⇒ 契約上私費負担

③業者(JTB)から

○秋への日程変更は、他の学校日程で埋まっているため、現状では難しい

○宿舎等は感染防止を徹底しており、今までにコロナ感染者は出ていない